

所長あいさつ

平成28年4月1日に袋井土木事務所長として着任した戸塚佳寿好（とづかかずよし）です。

袋井土木事務所管内は、古くは東海道53次の宿場町として、昭和の時代には東海道新幹線や東名高速道路の建設によって経済成長の波に乗り、近年は新東名高速道路の開通によって交通の利便性が格段に向上するなど、古くから東西交通の要衝として栄えてきた地域です。

また、交通の利便性が高いことに加え、遠州灘海岸から緑豊かな中山間地まで、豊かな自然環境と温暖な気候の下、製造業をはじめとする様々な企業が立地するとともに、お茶やメロン、花卉など数多くの農芸品も産出するなど、自然と人々の営みが共生している地域でもあります。

さらに、管内には2002年サッカーのW杯が開催された小笠山運動公園もあり、2019年にはラグビーのW杯も開催されることから、県の新たな施策であるスポーツによる地域振興も大きく期待される地域です。

日本では、少子高齢化によって人口減少や超高齢化社会が進展しつつあり、県の歳出も、インフラ整備から社会福祉関係事業へと大きくシフトしていますが、地震や豪雨による被災リスクの低減と発災時の速やかな復旧・復興のためのインフラ整備など、県民の皆様が、安全に安心して暮らしていける社会基盤整備は十分であるとは言えない状況にあります。

袋井土木事務所では、今後とも社会基盤の整備を進め、交通の利便性が高く、安心して安全できる地域づくりを進めることによって、人口減少社会に対応していくとともに、経済の活性化も促してまいりたいと考えておりますので、皆様方の御協力を賜りますようお願いいたします。



平成28年4月

静岡県袋井土木事務所長 戸塚 佳寿好